

バイブルスタディ **ピリピ人への手紙 4:10-13**  
—満ち足りた心を持つ（満足する）秘訣を知る—

2019.03.24  
Pastor JD Farag

使徒パウロが、この書簡を書く約 10 年前に開拓したピリピの教会に宛てて、聖霊によって書いています。

### ピリピ 4:10-13

10 私を案じてくれるあなたがたの心が、今ついによみがえってきたことを、私は主にあって大いに喜んで  
います。

あなたがたは案じてくれていたのですが、それを示す機会がなかったのです。

11 乏しいからこう言うのではありません。

私は、どんな境遇にあっても満足することを学びました。

12 私は、貧しくあることも知っており、富むことも知っています。

満ち足りることにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に対処する秘訣  
を心得ています。

そして多くの方が知っている御言葉

13 私を強くしてくださる方（別訳ではキリスト）によって、私はどんなことでもできるのです。

共に祈りましょう。

愛する天のお父様、今朝、私たちに与えられている箇所と御言葉を感謝します。

聖霊によって、今日あなたが用意して下さったことを見る目、聞く耳、受け取る心が与えられなければ、共  
に過ごす時間は全く無駄だと痛感します。

私が牧会させて頂いているこの素晴らしい教会の誰一人として、この時間を無駄にしたいはずで  
す。

ですから主よ、あなたにしかできない方法で、聖霊の静かな清い声で語って下さい。

あなたのしもべは聞いていますから。

イエス様の御名によって願い求めます。アーメン。

今日お話しするのは「満ち足りること」について、特に、キーワードである「満ち足りた心を持つ秘訣」を  
知ることに關してです。

面白いことに、不満を持つことに関しては学ぶ必要がありません。

ありがたいことに、それは難なくできるから。

しかし、満ち足りることに関しては学ばなければなりません。

これは私が直面する大きな問題で、またクリスチャン、とりわけアメリカのクリスチャンにはそうなのです。

皆さんも同意するはずですが、特にアメリカ人は世界で最も繁栄していて、それでいて、世界で最も不満を  
持った人たちです。

なぜ私たちアメリカ人は、自分の所有物、仕事、悲しいことに結婚生活、そして敢えて言うと、自分の教会  
に不満を抱いているのでしょうか。

私は、“隣の芝生は青く見える” からだと思っています。

これが、私たちの人生に敵が働く方法で、敵はいつも隣の芝生に目を向けさせようとする。

テレビの CM で、広告主がテレビの 30 秒の CM に、天文学的なお金を注ぎ込むのはなぜでしょう。

それは、今持っている物では満足できないようにし、広告品を買わせるのに非常に効果的だから。

すみませんがカーマニアなので、殊に車の CM に目が行ってしまうのですが、彼らはとても上手い。

すごくハンサムな男性と、すごく魅力的な女性を出して来て、というか今までこんなに素敵な人たちを見た

ことがないんですけど。  
今まで、こんなにも幸せそうな人たちを見たことはありません。

「彼らは本当に幸せなんです。  
なぜ？ だって、あなたが持っていない新車をもっているから！  
あなたが彼らのように幸せじゃないのは、それが原因かもしれません。  
この車を買えば、あなたも笑顔になりますよ！ 心には幸せが！ そしてガレージには借金が…」  
そういう仕組み。  
それで家の前の自分のポンコツ車を見て、「新しい車が必要だ。」  
いいえ、必要ありません。  
今ある車に、なぜ満足しないのですか。

ミニストーリーを始める前、私は、車を購入する際の価格交渉を手助けするビジネスをしていました。  
ぼられないように手助けする購入サービスです。  
顧客が節約できるように力を尽くし、なんと、『車を買わない方法』『車を購入する時にすべきではない 10  
の事』というセミナーまで開いていました。  
ある時の質疑応答で  
「顧客が車を買う時に、最高でいくら節約させることができたのですか。」  
「2万5千ドル（約275万円）です。」  
「何ですって!?! 高級車ですか？」  
「いいえ。私が処理を済ませる頃に、彼らは車を購入しないことにしたのです。だから、2万5千ドル節約  
させたんですよ。」  
今持っている車が最高の取引になることがあるのです。

ある農夫の話を聞きました。  
彼は自分の農場に幻滅したので、不動産屋に売却の電話をし、物件目録を送りました。  
それが済んだ後、「これが売れた後のために、新しい農場を探し始めよう。」と思い、売却リストに目を通し  
たら完璧な農場が見つかった。  
詳細を見て、「なんてこった！ これはまさに、私の願い通りの探していたものだ！」  
実は、それは自分が売りに出した農場だったのです。  
**日の下には新しいものは一つもない。(伝道者の書 1:9)**

多くの人が、エデンの園で始まった蛇の偽りを受け入れてしまっています。  
考えてみて下さい。  
エデンの園は完璧でした。  
私たちは天国に行くまで、エデンの園がどのようなものだったのか知ることはできませんが。  
神様は言われました。「全ての木から食べていいよ。ただし、この木を除いて。」  
すると蛇がやって来て、エバの心に不満足の種類を植え、神様が与えた全てのものに満足できなくなるように  
仕向けて言いました。  
「あなたたちは、園のどの木からも食べていいんですね。これ以外は。」

現代はこんな感じです。  
店の窓は全て紙で覆われていて、そこに1つの穴があり、その上に「この穴からは覗いてはならない」と書  
いてある。  
「他のどこからでも覗いていい。だが、この穴からだけは絶対に覗いてはならない。」

「なぜダメなんだ!?!」

見るために待つ行列が1ブロック、いや1マイルできますよ。

ある人が的を射たことを言っています。

「私たちが不満を持つ原因は、自分の欲を、自分の必要だとしばしば勘違いしてしまうことだ。」

これこそ、敵が必死になって行うことではないでしょうか。

「もっと欲しい」と思わせる。

パウロは、富んでいようと貧しかろうと状況に関係なく、クリスチャンが満ち足りた人生を生きるために、実際どうやって学ぶかを今日のテキストで示しています。

① 満ち足りた心を習得する1番目の秘訣は10節。

**10 私を案じてくれるあなたがたの心が、今ついによみがえってきたことを、私は主にあって大いに喜んで**  
**います。あなたがたは案じてくれていたのですが、それを示す機会がなかったのです。**

感謝すること。

最も不満を抱いている人というのは、最も感謝をしない人。

私は子供たちを思い浮かべながら話しています。本当に。

違う方向に話が行っている気がします、ちょっとだけ言わせて下さい。

なんと恩知らずで感謝しない、甘やかされた今の子供たち。

そういう世代が大勢いて、ものすごく思い上がっている。

何ということでしょうか。

当然、親は、自分たちが若かった頃について、うるさく言い聞かせます。あの時代のことを。

「私が若かった頃、電話をかける時は、プラスチックのダイヤルに指を突っ込んで回していたんだぞ。」

「公衆電話ボックスがあったんだ。その時代を知っているか？」

モチロン、知ってるわけないでしょ。

まあ、ともかく。脱線してしまいました。

10節でパウロは、自分がローマの牢獄にいた時の経済サポートについて、深い感謝を表しています。

そして、皆からの献金、愛の小包を自分に届けるために旅して来た（ある人たちによると 800 マイルの距離）エパフロディトに言及しています。

なぜなら、当時、投獄されるということは、放置死を意味していたのです。

皆さん、このことを理解しなければなりません。

食べ物なんて与えられませんよ。

家族か友人が持って来てくれなければ、生き延びることはできませんでした。

看守たちはそんなこと気にかけない。

ジムなんてない。何もなし。死ぬための投獄。

ですからパウロにとって、ピリピ教会の人たちは大きな祝福で、彼らがしてくれた事や援助に、本当に感謝していたのです。

また、彼らが自分を助けたいと思ったけど、何らかの理由で出来なかったことも知っていると言っています。でも彼らの心を知っていたので、深く感謝していました。

お隣の買ったばかりの新車と比べたら、ピカピカしていないかもしれませんが、乗れる車があることに感謝すべきですし、もう既に4世代は古い iPhone6 にも感謝すべきです。

私のはこれ、iPhone6。

イエスの御名によって、皆さんと共有したかっただけですけど。

正直に言うと、10が出た時、「うわ！ 欲しいかも。」と思いましたよ。

すると主は「スマートフォン、持っているだろ。」

「確かに持っていますけど、あれ、見て下さいよ。」

そしたらXが出た。Xと10は違うと思うけど、よく分かりません。ともかく買いませんでした。

私はスマートフォンを持っているし、9年落ちの車も持っています。2回エンジン交換しましたが。

でも私は、A地点からB地点に連れて行ってくれるその車に、本当に感謝しています。

確かにガタガタするし、ちょっとしたトラブルは起こるし、跳ねるし、色々ありますよ。

だけど、その車にただ感謝です。

牧師として、もっと身近なことを挙げさせて下さい。

私は牧会させて頂いているこの教会に、心から感謝しています。

通りの沿道にある教会や、島のどこかのここよりも大きな教会に目を留めません。

「あそこは礼拝が3回もある」あら。

「あなたの教会を出た人たち、あちらの教会に行ってますよ。」ふむ。ふーん。

「あの牧師はどう？ 彼がやっている事を見て。」おお。

間違いなく敵は、すぐそばでポップコーンを作り、動画を再生し、うろつきながら、「あの牧師を見てみろよ。彼の教会の芝生の青さを見てみな。」と言って来る。

だけど、「おお。本当に…いや、ちょっと待った。うちの教会を見て。素晴らしいじゃないか。」

また車のたとえですが、こう言わせて下さい。

感謝することは、満ち足りた心になるための燃料です。

② 満ち足りた心を習得する秘訣の2番目は11節と12節。

**11 乏しいからこう言うのではありません。**

**私は、どんな境遇にあっても満足することを学びました。**

**12 私は、貧しくあることも知っており、富むことも知っています。**

**満ち足りることに、飢えることに、富むことに、乏しいことに、ありとあらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。**

満足すること。

ここでパウロは、状況に関係なく満足する秘訣を学んだと言っています。

「主よ、私はあなたが与えて下さる備えに満足しています。

今、置かれている状況に満足しています。私は他の何ものも望みません。」

これが秘訣です。

富んでいようが貧しかろうが、満腹であろうが、空腹であろうが、パウロには問題ではありませんでした。主にあって満足していたからです。

主に満足していた。状況ではなく。環境ではなく。

彼が置かれた状況は、満足を得られるようなものではなく、イライラさせられるものだったはずですが。

しかし、状況をベースに満足が存在するものではありません。

「私の力は主にある。私は主から力を得る。

私の満足は主の中にある。私は主から満足を得る。そして、私は主から感謝の心を得る。」

これがパウロの満ち足りた心の秘訣です。

主が、人生で何をされようとも、状況がどれほど困難であろうとも、彼は主にあつて満ち足りていました。この書簡を書いている時、彼は牢獄にいたことを頭に入れておいて下さいね。忘れるのは簡単ですから。牢獄にいながら、ピリピ教会からの提供に深く感謝し、何があろうと満ち足りる秘訣を学んだと語っているのです。

満ち足りた心であの牢獄にいた！

どうしたら、そんなことができるのでしょうか。

もし私がどこかの牢獄で手紙を書いたら、この手紙とは全く違うものになっています。

「私が釈放されるために、あなた方は断食して祈らなければならない！」

ただ言っただけですよ。

パウロは違う。

彼は自分を満たすことができる唯一の方を知っていて、その方によって満ち足りていたのです。

置かれた場所や状況は問題ではなかった。

だからこそ、テモテに手紙を書くことができました。

## I テモテ 6:6-10

### 6 しかし、満ち足りる心を伴う敬虔こそが、大きな利益を得る道です。

セットになっているのが分かりますか。

満ち足りる心を伴う敬虔。それが大きな利益を得る道。

その理由は、

### 7 私たちは、何もこの世に持って来なかったし、また、何かを持って出ることもできません。

まったくその通り。でも時に、そう思っていない事がある。

以前、ある富豪が亡くなった時の追悼式で、誰かが言いました。

「彼は一体いくら残したんだろう。」

すると、「全てですよ。」と。

あなたは何も持って行くことはできません。

前もって送ることはできますが、それはまた別の時にお話します。

イエスは、「私たちのいのちは、自分が所有している物や豊かさによって成り立っているのではない」と語りました。

それは大きな利益ではありません。

### 人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら、何の益があるでしょうか。(マルコ 8:36)

その時が来ます。

私はそれが携拳という形で、本当にすぐ来ると信じています。

私たちはこの墮落した闇の世界で最後の呼吸をして、永遠の世界で最初の呼吸をするのです。

私たちは、何も、何ひとつ、この世に持って来ませんでした。

この地上を去る時も何ひとつ持って出ません。

それはまさに必要な視点です。

満足すること。

### 満ち足りる心を伴う敬虔こそが、大きな利益を得る道。

**8 衣食があれば、それで満足すべきです。**

私は無理です。

しかし、

**9 金持ちになりたがる人たちは、誘惑と異と、また人を滅びと破滅に沈める、愚かで有害な多くの欲望に陥ります。**

そして 10 節は、聖書の中で最も誤った引用をされている箇所です。

**10 金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。**

金銭を愛することであって、お金ではありません。

お金は中立です。悪い事にも良い事にも用いられる。

**ある人たちは金銭を追い求めたために、信仰から迷い出て、多くの苦痛で自分を刺し貫きました。**

**ヘブル 13:5-6****5 金銭を愛する生活をせずに、**

これですよ。違いますか。

神が与えて下さったものに満足できないようにするのは、欲しがること、妬み、嫉妬。

誰かが持っているものを欲しがって、結果、不満を抱く。

そういうことです。

**5 金銭を愛する生活をせずに、今持っているもので満足しなさい。**

**主（イエス）ご自身が「わたしは決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない」（私はこれが大好きです）**  
**と言われたからです。**

**6 ですから、私たちは確信をもって言います。**

**「主は私の助け手。私は恐れない。人が私に何ができるだろうか。」**

③ 満ち足りた心を習得する秘訣の 3 番目。最後の秘訣は 13 節。

**13 私を強くして下さる方によって、私はどんなことでもできるのです。**

確信を持つこと。

言うまでもなく、これは実に有名な箇所で、多くの人の人生句になっています。

**私はどんなことでもできる。**

なんと素晴らしい約束でしょう。

金曜日のことですが、妻から庭仕事を頼まれました。

彼女が新しい植物を植えることができるように、庭の枯れた低木を引き抜かなければならなかったんです。

「問題ないよ。」

愚かな私は、手袋も長袖も着ないで庭に行き、枝を折って、根っこを引き抜こうと頑張りました。

引っ張って、更に引っ張って。でも、あの厄介な低木は全く抜けない。

悪霊を追い出すこともしました。

でも、どちらも効果なし。

その時、ピリピ 4 章を思い出しました。

「私は、私を強くしてくれるキリストによって、何でもできるんだ!!」

主がパウロに 13 節を書くように靈感を受けた時、この事を考えていたのかは分かりませんが、とにかく思い出すや否や、抜けたんですよ！

私も一緒に倒れましたけど。少なくとも抜けた。

私は、私を強くして下さるキリストによって何でもできる。

### 13 私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。

パウロが語っているこの文脈を、しっかりと再考すべきだと思います。

まず、彼が「私たちはどんなことでもできる」と言っていること。

「イエスの御名により、私たちを強くして下さるキリストによって、私たちは“何でも持つことができる”」  
とは言っていない。

そんなことは全く言っていない。

つまり、こういうことです。

「神様は、あなたにお金持ちになって欲しいんですよ。」

「神は、あなたが新車のベンツを運転することを望んでおられる。」

この解釈は、繁栄神学として知られる、危険な偽りの教えに力を貸しているのです。

神様が私のように、ヒュンダイに乗って欲しいと欲していたらどうしますか。

あなたがその車を持つことを、神が望んでおられなかったらどうでしょうか。

私、さっきから車のことばかり言って。我慢して下さいね。

今日以降、皆さん、車を売りに出すはずです。…言おうとしていた事を完全に忘れてしまいました。

車に関するものすごく素晴らしいとえだったのに。

恐らく、預言アップデートの後で思い出すんですね。

なので、先に進みましょう。

繁栄神学はこう言います。

「あなたがお金持ちになることを、神は願っておられる。」

「信仰が十分あれば、どんなものでも手に入れることができる。」

「自分がしたい事は何でもできる。」

「ただ、ありとあらゆることを要求しなさい。」

ある人の言葉によるなら、「べらべら喋って、つかみ取れ！」(Blab it and Grab it!)

信仰という言葉が、「信仰が十分あれば、自分が願う事を何でもすることができ、欲する物はどんな物でも手に入れることができる」という偽りの教えになっている。

これは、パウロがここで語っていることと完全に違います。

パウロは、主にあって確信を持つことを語っているのです。

自信によるものではありません。

「私は、あらゆる困難を乗り越え、どんなことでもできるように力づけて下さるイエス・キリストに確信を持っている。」

「私の確信は自分にあるのではない。私の強さは自分の内にあるのではない。」

事実、パウロは「自分の弱さを誇る」と言っています。

「なぜなら、私が弱い時、私はキリストにあって強いからだ。」

「キリストにあって、主が私の力であり確信だ。」

だから、私を強くして下さるキリストによって、確信を持って、どんなことでもできるのだ。」

御言葉を2つ読んで終わりにしたいと思います。

#### 箴言 19:23

**主を恐れるなら、いのちに至る。満ち足りて住み、わざわざにあわない。**

キリストにある私たちの平安、満足の素晴らしさよ！

## ヨブ 1:20-21

20 このとき、ヨブは立ち上がって上着を引き裂き、頭を剃り、地にひれ伏して礼拝し、

21 そして言った。

「私は裸で母の胎から出て来た。また裸でかしこに帰ろう。

主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」

もっと時間があるといいのですが。私はヨブが好きなので。天国でヨブに会うのが待ち切れません。

先週考えていたのですが、「力強く用いられた神の人たちに会うのは、どんな感じなんだろう。」

彼らは実在の人物で、彼らに会うんですよ。

どんな顔をしているのか、誰だかちゃんと分かります。

これも別の日のトピックですが、でも、パウロに会う日の事を考えます。

ノア、ヨブ。私はヨブに会いたい。彼と話したい。彼はすごい。

木曜日にヨブ記を学び終えましたが、全く驚くべき書でした。

この男性について、私たちは1つの事を知っています。

それは、あらゆる試練を体験した後も、このように言えたということ。

21 「私は裸で母の胎から出て来た。また裸でかしこに帰ろう。

主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」

素晴らしい御言葉ですね。

額に入れて飾っている人もいるかもしれません。

しかし、ヨブがいつこれを言ったか知っていますか。

全てを失った直後ですよ。

そして、これら全てのことが起こった後も、ヨブは主に対して罪を犯さなかったとヨブ記の最後で伝えています。

彼は何が起ころうとも満ち足りていました。

なぜなら、

主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。

祈りましょう。

天のお父様、感謝します。

主よ、パウロやヨブ、その他大勢の人たちのように、私たちも主にあって満ち足り、あなたに感謝する秘訣を学んだ者になりたいです。

主よ、ありがとうございます。

あなたの御名をほめたたえます。

あなたが与えようと、取られようと、私たちは満ち足りているのです。

イエスの御名によって。

アーメン。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by JD Farag 牧師

カルバリーチャペルカネオヘへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii